

**県内在住・在学のジュニア選手・保護者に訴えます！！**

当協会は、現在、日本テニス協会（J T A）、関東テニス協会（K T A）との間で、埼玉県の代表を選出する「県ジュニアテニス選手権、M U F Gジュニア県予選、全国選抜ジュニア県大会、さいたまジュニアカップ」に出場する際の「参加資格」について、議論していますが、調整が難航しています。今回、その内容をジュニア選手や保護者の皆さんに知っていただき共有化を図るために、HPで公表することにしました。

《 内容は以下のとおりです 》

**関東地域（8都県）**では、30年前からK T Aのランキングシステムが運用され、上記4大会に参加した選手にポイントが付与されます。



そのためには、「県内在住・県内在学・在クラブ」のいずれかで、当協会へ登録します

（「**在クラブ**」で登録する選手には、「**県外在住・在学**」の選手が含まれます）



K T Aから、7桁の「K T A個人登録番号」が付与されますが、この番号は、**頭の2桁が「34」（「34〇〇〇〇〇〇」）**で、この番号を持つ選手が出場できるのは、埼玉に限られます。



つまり、現状では、**上記4大会に「他都県在住・在学」の選手が出場しているということ**です。

今回、J T Aの「ジュニアJPIN統一ランキングシステム」（3年間に展開されたものの未だ完全実施に至っていないことが問題をより大きなものにしてはいるのですが）展開に伴い各都県でJPIN登録手続きを行った結果、上記の制度により、埼玉には他都県在住・在学の選手が**80~100名ほど（ジュニア選手の約10%）**在籍していることが判明しました。（選手には何の責任もありません。ルールに従って手続きしただけです）

これにより、県内在住・在学選手の上記4大会への出場の機会が奪われたり、関東ランキングの順位付けにおいても不利益を受けたりと、大きな影響が生じています。（具体的データ添付）

他方、埼玉県民総合スポーツ大会の一環として実施しており、その大会総則は「在住・在学、在勤」となっていて、この点を遵守することが求められています。スポーツ庁よりのガバナンスコードにも適合することが必要であり、この件でJ T Aと埼玉県側との打ち合わせを行うことになっており、その状況により判断が必要です。

当協会は、上記のような状況を改善すべきと考え、且つ、埼玉県の代表を選出する大会の参加資格は、当然「県内在住・在学」が県民の皆さんに受け入れられる基準と考え、5月開催の定期総会において決議しました。

埼玉県テニス協会の提案は以下の通りです。

**【参加資格については各都県に委ねる。**

**他都県でのクラブ名の使用を認め、選手のクラブの移籍を不要とする。】**

現在J T A、K T Aとの調整を実施中ですが、J T A評議員会では「関東地域については、J T AジュニアJPIN登録基準は別途関東8都県とJ T Aで協議の場を持ち調整を図る。」との報告があり、その調整について、埼玉県テニス協会としてはJ T Aに異議を訴えています。

この問題は現在進めている関東テニス協会ジュニア公認大会の公認の問題とも連動しており、この件で関東テニス協会とも協議中です。

J T Aが3年前から取り組んでいる「全国統一のジュニアランキングシステム」が本格運用されれば、それが上記K T Aのランキングに取って代わります。それに合わせ、従来のルール見直しを提案したのですが、K T Aは従来のルールに固執し、J T AもK T Aの姿勢に追随するばかりで、両者とも、本件提案に正面から取り組もうとはしていません。

以上ですが、この問題でジュニア選手が不利益を被ることがないようにすることが、J T A、K T A及び埼玉県テニス協会の責任であると考えています。

皆さんは、この状況をどのように受け止められるでしょうか。

「2020県ジュニア」における県外在住・在学選手エントリー状況

\* ( )内が「県外在住・在学」選手数

男子	エントリー数内訳			
	エントリー合計	本戦	予選	補欠
18歳男子シングルス	120( 4)	48( 2)	64( 2)	8
( )内構成比	<b>3, 3%</b>	<b>4, 2%</b>	<b>3, 1%</b>	—
16歳男子シングルス	106(10)	48( 4)	58( 6)	0
( )内構成比	<b>9, 4%</b>	<b>8, 3%</b>	<b>10, 3%</b>	—
14歳男子シングルス	147(18)	48( 5)	96(13)	3
( )内構成比	<b>12, 2%</b>	<b>10, 4%</b>	<b>13, 5%</b>	—
12歳男子シングルス	120( 4)	48( 2)	72( 2)	0
( )内構成比	<b>3, 3%</b>	<b>4, 2%</b>	<b>2, 8%</b>	—
男子合計	493 (36)	192 (13)	290 (23)	11
( )内構成比	<b>7, 3%</b>	<b>6, 8%</b>	<b>7, 9%</b>	—

\* ( )内が「県外在住・在学」選手数

女子	エントリー数内訳			
	エントリー合計	本戦	予選	補欠
18歳女子シングルス	49 (0)	49 (0)	0 (0)	0
( )内構成比	—	—	—	—
16歳女子シングルス	70 (5)	58 (5)	12 (0)	0
( )内構成比	<b>7, 1%</b>	<b>8, 6%</b>	—	—
14歳女子シングルス	76 (13)	52 (9)	24 (4)	0
( )内構成比	<b>17, 1%</b>	<b>17, 3%</b>	<b>16, 7%</b>	—
12歳女子シングルス	51 (5)	51 (5)	0 (0)	0
( )内構成比	<b>9, 8%</b>	<b>9, 8%</b>	—	—
女子合計	246 (23)	210 (19)	36 (4)	0
( )内構成比	<b>9, 3%</b>	<b>9, 0%</b>	<b>11, 1%</b>	—

男女合計	739 (59)	402 (32)	326 (27)	11
( )内構成比	<b>8. 0%</b>	<b>8. 0%</b>	<b>8. 3%</b>	—